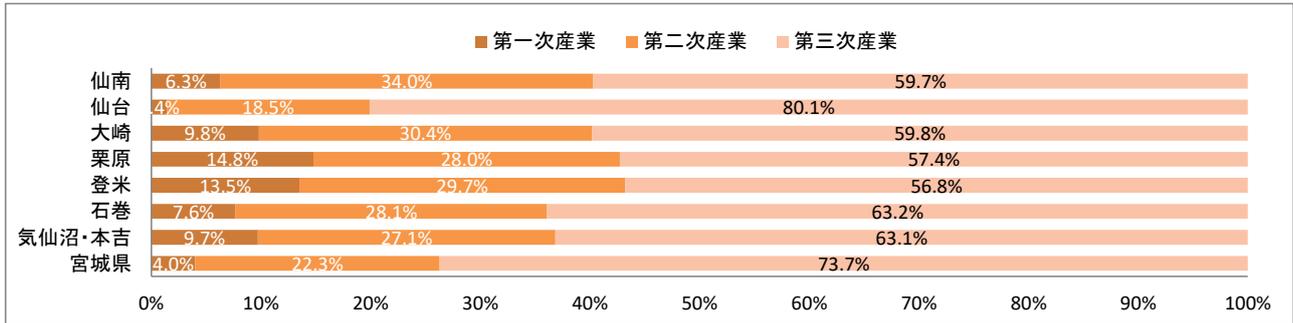


4 産業分類

登米地域の第一次産業従事者割合は栗原地域に次いで高く、第二次産業も仙南、大崎地域に次いで高い割合になっていますが、第三次産業は県内で最も低い割合となっています。県全体の動向と同様に登米地域でも第一次、第二次産業の割合が減少し、第三次産業の割合が増加しています。

-産業別就業者数割合(圏域別)-

令和2年10月現在



資料: 令和2年国勢調査就業状態等基本集計結果宮城県の結果概要

-産業別就業者数-

各年10月1日現在(単位:人)

		登米市				宮城県			
		全産業	第一次産業	第二次産業	第三次産業	全産業	第一次産業	第二次産業	第三次産業
平成12年	就業者数	46,401	7,561	17,475	21,353	1,153,411	74,909	308,345	759,343
	構成比	100%	16.3%	37.7%	46.0%	100%	6.6%	27.0%	66.5%
平成17年	就業者数	43,598	7,335	14,178	22,001	1,107,773	68,985	260,754	765,734
	構成比	100%	16.9%	32.6%	50.6%	100%	6.3%	23.8%	69.9%
平成22年	就業者数	39,412	5,277	11,472	20,797	1,059,416	53,219	234,210	746,752
	構成比	100%	14.1%	30.6%	55.4%	100%	5.1%	22.6%	72.2%
平成27年	就業者数	41,964	5,212	12,158	22,128	1,077,927	47,017	246,510	760,125
	構成比	100%	13.2%	30.8%	56.0%	100%	4.5%	23.4%	72.1%
令和2年	就業者数	40,487	5,452	12,025	23,010	1,181,118	47,651	263,229	870,238
	構成比	100%	13.5%	29.7%	56.8%	100%	4.0%	22.3%	73.7%

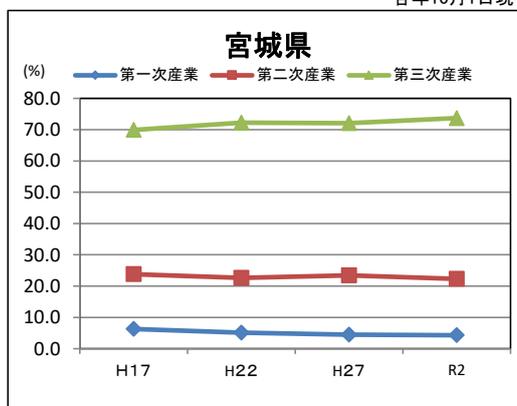
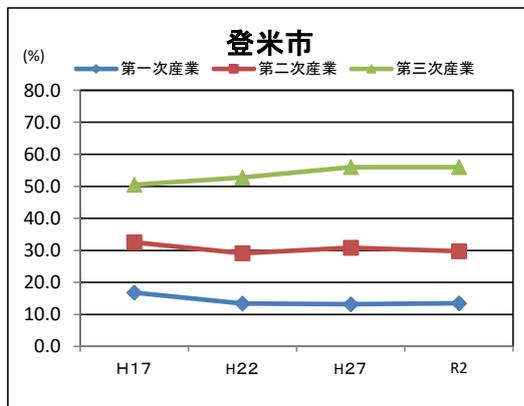
資料: 令和2年国勢調査就業状態等基本集計結果宮城県の結果概要

※1 全産業の就業者数には、分類不能の産業の就業者数も含むため、各産業の合計と一致しない

※2 各産業の構成比は分類不能の産業の就業者数を除いた割合

※3 分類不能の産業とは、主として調査票の記入が不備であって、いずれに分類すべきか不明の場合又は記入不詳で分類しえないもの

各年10月1日現在



資料: 令和2年国勢調査就業状態等基本集計結果宮城県の結果概要